明治三十八年十二月二十六日 第三種郵便物認可
明治三十九年四月二十四日 火曜日
光緒三十二年四月初一日 滿洲日報第二百二十三號 (一)

# 滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

……五吊四百文至五吊
……三十餘輛
……上東三十餘輛
……共東七十餘輛
……六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙罫紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚綴 十四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簟笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戶棚 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宣德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
*The Manchuria Daily Report Office.*
*Newchwang.*
Telephone No. 29.

料告 一ヶ月以內……
一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街
滿洲日報社 (電話二九番)

---

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲立積金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

橫濱正金銀行牛莊支店
電話十八番 支配人室
百八番 事務室

---

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

三河丸 廿四日入港
勝山丸 廿五日入港
營口丸 四月廿六日出帆 太沽、芝罘 門司、神戶行
山東丸 五月三日出帆 大沽、芝罘、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

---

瀛船出帆廣告

日海丸 四月廿五日入港
日東丸 廿六日出帆芝罘、門司行
第二乾坤丸 廿六日門司直行
金龍丸、大龍丸、國見丸 臨時芝罘定期
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部 (電話五二番)

---

新荷着
朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

---

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告

盛航丸 廿四日 門司行
代理店 ブツシユ兄弟商會 東營口公園地横
遠來洋行 (電話二十三)

---

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及搭各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞昨本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需圖本主人啓

---

宅合名會社分莊

運輸部

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綫子洋胰鹼表貨物俱全而價値尤格外從廉且貨客賜顧時另設有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運搬特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

---

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢象代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二隻棧房地方寬大凡船輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜常置有輪船一隻名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

---

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素深交厚並與各南北客商經理有年誠信相孚退邇知之 正理事孫玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

---

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

---

仁裕號

保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨種石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

---

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋綵身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

---

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

---

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撒谷利)百合花牌(利利)均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沾來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

---

本行瀛船
摩耶山丸 賴朝丸
專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大無至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全又有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行(電話五十二番)

---

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

---

生徒募集

營口瀛華實學院招入學生

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し僅に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律開學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實院

---

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊

喜久洋行
營口永世街八十號
(電話百五十二番)

---

鐵道遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
(電話八十一號)

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

---

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

幣公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ解船、市内貨物運搬及貨物保管等ノ確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尙其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也

營口英國領事館東首
叙定門街第五〇
三仁公司 (電話一五〇號)
小島榮哉

---

上海中井洋行
專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張け本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

---

丸重洋行 貨物運輸

啓者 本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値爲旨主之利便爲旨 如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話 營口 拾八番 牛家屯 四拾六番

---

材木 荒物 販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

---

齒科名醫到營

治療齒痛之法爲衛生上必要之一端向未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余甞深以爲憾頃二三志士特請居留天津之齒科名醫田添豐三君來營即在舊高田洋行內從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否玆不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈
營口有志者白

---

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

---

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃 營口南永世街北斗洋行
西櫃開設 營口西北街塘子胡同內

東京電報

●兇徒嘯聚事件の判決　兇徒嘯聚罪の嫌疑を以て檢擧の結果本裁判に移されたる河野廣中櫻井熊太郎氏以下本日判決あり皆無罪の宣告を受けたり　（二十一日午後一時發）

●大島總督着京　大觀兵式參列の爲め上京の途に上りたる大島大將は途中朝鮮を經由したるため今朝漸く着京したり　（二十二日午後一時發）

●在桑港邦人の饑渴　駐在桑港上野領事よりの公電に曰く我領事館も震災の爲め凡て烏有に歸し我在留邦人は約一萬人饑渴に迫り救濟方法講究中なり左れど火災は二十二日朝に及ぶも尚は滅せず　（二十二日午后三十分發）

●桑港大地震後報　桑港十八日朝五時の劇震に繼ぎ午後も劇震數回あり市街の半分は震災と火災とにて皆潰崩に歸せしが如し此大厄難にて警察は用を爲さゞる故戒嚴令を全市に施行せり桑港人命の損害は非常に多數日本人居住のベスエス區域も悉く崩壞に歸せり惡徒盜賊横行して虐殺行はる地震の爲め家を失ひし者二十万人　東京駐紮米國代理公使の手に到着せる電報に依れば今回の震災は國家的災厄にて桑港の運命は殆と盡き果て水道は破裂の結果火害を防止する能はず今尚火災熄まず大統領は國民一般に訴へ赤十字社の手を經て救濟を求めたり桑港には日本人一萬餘人居るなり該震災は歐洲列國の深大なる同情を喚起せり

●獨乙の牛莊領事館　獨乙は領事館を牛莊に新設すべし

●義和宮への御沙汰　義和宮殿下は二十日陸軍參謀仰付けられたり

●韓帝の大島總督叙勲　韓國皇帝より大島總督に勳一等大旭章を贈與さるべし

●天皇陛下の御親電　天皇陛下より米國大統領に宛て御見舞の御親電を發せさせらる

●師團長會議の開會　二十四日より陸軍省にて師團長會議を開會すべし

●伊藤統監の到着　伊藤統監二十三日神戸着二十四日大磯着の豫定なり

●伊豆沖の白煙　十五日伊豆ヨリウカトウの南東に當り白烟の熾んに起るを見たりとの報あり　（以上四月二十一日發電）

●國務卿の震災電報　二十一日午後六時東京駐在米國代理公使ウィルソン氏が本國國務卿楼手の電報に依れば二十日夜半新に出火し今熾んに燃え商業區は勿論居住區域に至る迄全市燒き拂はれん模樣ありと

●三井物產支店燒失說　カリホルニヤ州なる三井物產支店燒失せりとの報あり

●尾崎市長の見舞電　尾崎東京市長カリホルニヤ州知事桑港市長に宛て見舞電を發せり

●赤十字社病院船派遣說　平素同情厚き對岸の震災に付我赤十字社は病院船を派遣し遭難者救護に當らんとの議あり

●青ケ島噴烟無事　前報青ケ島?附近の噴烟は其後無事

●大山元帥の留別會　大山元帥は二十一日夜自邸に參謀本部の重もなる者を招き留別の宴を張る　（以上四月二十二日發電）

●大地震後報　ワシントン、カリホルニヤ大地震の損害は漸次に增大し無宿放浪者十万を超え死者五千負傷者數十　桑港の日本居住地は崩壞し在留日本人にも死傷あり支那町も破壞せり火災猛威を逞うし食物の供給杜絕の姿なりカリホルニヤの十五市は總べて困窮の體に在り議會は取敢へず救助費百萬弗を支出に決す大統領は義捐金募集を國民に訴へり三井支店は無事東洋滊船事務所は倒壞紐育より消防隊を派遣せりと

●京濱商人の救助協議　橫濱東京の輸出商を始め團体等救濟方法講究中

●瑞西公使館開館　瑞西公使館は近日より開館現總領事ドクトル・リツテル氏公使に任命せらるべし

●暹羅皇族の來朝　暹羅皇族ナコンチアス親王は大觀兵式參列の爲め二十二日長崎着の筈なり

●大島總督着京別報　大島總督長谷川大將貝鍋中將同列車にて二十二日着京

●リツトル氏の死去　ノルス・チャイナ・デーリー・ニュース主筆リツトル氏二十日死去

●陸海軍凱旋祝賀會　山縣元帥寺內陸相主人と爲り五月四日新宿植物園に於て凱旋大祝賀會あり又齋藤海相東郷軍令部長は五月一日築地水交社に於て海軍凱旋大祝賀會を開く　（以上四月二十三日發電）

鐵嶺電報

（二十二日午后五時特派通信員發）

●鐵道受領委員の會見　鐵道受領委員中村少將の一行は二十一日西沙河子附近にて露國委員長ドウイッチ少將委員ブリンスヒルコフ、ブイコフ以下と會見我より炭礦及び線路の狀況に就き說明を求め又此際便宜上長春迄の鐵道を引渡されたしとの二提案を出せり一は詳細なる說明を得一は四平街にて二十五日返答すとの回答を得其他に三條件の問答ありたり露の委員は引渡終る迄は鐵道上に在る物件は釘一本たりとも紛失せざる樣すべしと聲明せり二十四日四平街に向ふ

倫敦電報

●桑港震災詳報　（四月二十日發電）

▲桑港軍管區司令官ファンストン將軍は去る水曜日を以て左の報告を爲せり「震災の爲め約一千の死者を生じ家を失ひ救助を要するもの十万人に達せり」

▲最近の報道に據れば桑港の全市は火煙に包まれ海上數哩の外に在るも猶之れを認むべく桑港は全く火中に葬られたるの觀あり

▲同港にて著名なりし建築物旅館劇場等の多くは潰倒燒失するに至れり支那街及び十本街も亦た破壞されたり

▲カリフォルニヤ州にてサンタ、クルーズ、モントレー、ギルロイ、パリスター等の諸市も震災を受け多數の死者を生せり

▲同州サンタローザ市に於ては二百名の死者を生じ家を失ひ路頭に迷ふ者一万人あり

▲スタンフォルド大學は大破損を受けたり桑港震災の損害高は二億弗圓以上なり

▲其後ファンストン將軍より發したる報告に據れば、火勢を制止すべき途なきを以て今や桑港全市は事實上破壞さるゝに至たり、家を失ひたるもの二拾万人に達し糧食倉庫燒失の爲め食料の缺乏甚だしと云ふ

▲米國政府は震災地人民救助の爲め糧食の輸送を開始し各都市は競ふて罹災民救助に從事しつゝあり米國上院は救助費として二百万圓の支出を可決せり

▲死者を生じたるは貧家多き地方に限られたれば大旅館に滯在せし英國若くは歐洲の旅客は多分安全ならむ　（四月二十一日發電）

▲昨廿日に於ける桑港の狀態は最も悲慘を極めたり火炎は市の四ケ所に於て猛威を逞ふし市民を驅て海中に投せしめむとせり二十万の避難民はゴルデゲート公園に群集し海岸は立錐の地なきまでに人山を築きたり、半ば狂亂せる避難民の云ふ所に據れば數百の市民は火中に葬られ其内には牢獄より放たれたる囚徒も加はり居れりと云ふ

▲ターミナル島及び其他の海岸の避暑地は海嘯の爲めに襲はれたりノブ丘上及びバナス通りに於ける富豪者の住宅は悉く破壞されたり饑餓恐怖交々到り慘狀實に名狀すべからさるものあり

▲ロックフエロー及び他の富豪家は救助の爲め莫大の寄附金を爲しつゝあり

▲今日の希望は桑港全市の四分の一を火災より救はむとするに在り三十万の市民は歸るに家なく饑餓に迫れり警察官は總ての食料店及び倉庫を押收して少しづゝ避難民に分配しつゝあり

▲ファンストン將軍は更に打電して曰く罹災地以外の地方より至急に救助を得るにあらざれば非常の困窮を免れがたしと

▲米國政府は同將軍に對して附近地方に於て糧食を購入すべきことを命せり猶商務郷を派遣して救助法方を取調べしむる筈なり

雜報

●遼陽通信　四月二十一日　森城生

●本願寺滿洲經營の刷新　既に世人の知れる如く一昨春端なくも日露の開戰と爲りてより以來西本願寺か軍國多事の秋に際し或は彈丸雨飛の間に風餐露食以て慰籍の道を講せしめ或は普く地方に巡回布敎師を派し恤兵に、公債に擧國一致の誠意を堅からしめ內外相呼應して軍國に盡瘁したる其の效果の顯著なるは今更ら喋々を要せさる次第なるか今や平和舊に復して百般の事整然緖に就きしより西本願寺は從來の滿洲經營方針を變更し玆に其の名稱も關東西本願寺別院と改めて大連に置き從來の慰問所在地は出張所となし其組織の內容を二部に分ち永久的施設を企つる由にて遼陽慰問部も自今出張所と改稱せり今組織內容の概略を聞くに左の如し

一、守備軍隊倶樂部と名け從來の慰問部を繼續し樂器運動具遊戲具貸本等を充分に備へ專ら守備軍をして万里駐屯の寂寥を感せしめず且つ各地に巡回して分遣隊の慰安を謀り併せて病院の連絡を保つ事

二、公衆の自由參拜を許し每月八回の說敎日を設けて精神の修養と心靈の慰安とを謀り尚は公會堂組織となして各團隊の集會は其會の性質を糺したる上にて此を許し且つ敎育部を設けて子弟の敎育を司とり書林部を設けて各方面の便宜を謀る事其の他說敎定日は每月一の日午後二時よりとし十六日は宗祖の靈日なるを以て說敎を開說し、血族の佛事供養せんとするものは午前十時より參拜し事務所に申出るへく又葬儀執行の際布敎使の出張を請はんとせは其旨申出て尚へき等の事なり因に子弟敎育の開始期は五月二十日なりと云ふ

●桝谷醫師の美擧　當地西街に開業する遼陽醫院主桝谷治三郎氏は赤貧者の治療する能はすして空しく病蓐に呻吟するを救出するは醫師の天職なりとし先頃より無料療し居れるが洵に美事と云ふへきなり

●城內の出火　本月二十日午後三時城內南街に出火ありたるが時恰かも北風甚しく火勢熖々何時消ゆへくもあらぬ有樣に心ある者の眉を蹙め居たりしが兵士及び職工の馳付て消防に盡力したる爲め大事に至らすして鎭火したるは午後四時過ぎなりし出火の原因は過失に出てたる由にて燒失したるは戶十八棟なりと云ふ

●長岡子爵追吊會　滬友會の發起に係る故長岡子爵追吊會は一昨二十二日午後十時より日本人會々場內に於て開催せられたり參列者は與倉軍政官瀨川領事始め五十餘名寺本布敎師の讀經あり參列者の燒香あり了りて茶菓の饗應あり瀨川領事は起つて長岡子爵追悼演說を爲し子爵が特異の點三つありと爲し一は華冑の門地に生れながら平民的なる事二は學識深くして東西の學に通せる事三は風流韻事に熟達する事等を擧げて故子爵の日淸交際上に功勞ありし事を述べられたり參列者一同も種々追懷を爲し正午頃散會したり

●遼河輸送組合に就て　遼陽輸送組合內に於て某々等一二の策士連が何をか惡計を講じつゝある事は既報の如くなるが今彼等イカモン屋の內意を探查するに第一の主眼とも云ふべきは例の輸送組合を株式組織となし表面組合全体に相當の利益ある如く裝ひ其實內幕同志の者等が其利益の大半を種々の實口の下に護得する事を以てし尚彼等の中には表面自己の荷物の如く詐り所謂旗貸票貸と云ふ惡計をなして一人か二百三百の金を捲上げつゝあり尚他にも種々の名目の下に如何はしき金錢を奪取しつゝありと、ては單に表面に顯れたる事實なるも尚裏面には既報の如く奇々妙々の奸策ある由なれば精探の上はビシ〳〵姓名を掲げて筆誅を加ふる事にせん

●遼河輸送組合の會議　遼河輸送組合に於ては過般組合會議を開催し理事の補欠選擧を行ひ更に從來の理事及び理事長等の改選を行ひ終りて日本館に於て組合員の親睦會を催したる由なるか先是、役員の改選も終了し會議の要件悉皆終らんとするや組合員酒井壽太郎氏は理事長高坂景顯氏の組合に對する功勞に酬るか爲に相當の贈物を爲す可き必要ありと發議し衆員亦た其至當なるを認め即座に金時計一個を贈與する事を決議せりとなり因に當日は理事長も改選せしは前述の通りなるか改選の結果高阪氏更に再選せられたるに何故か氏は感する所ありと稱へ理事長を固辭せりと云ふ尚は目下神野良氏間に立ち頻に高阪氏の決心を飜さしめんとしつゝあるも氏は頑として辭意を動かさす神野氏も爲に閉口の体なりと組合員中說を爲す者あり曰く高阪氏にして果して辭意を翻さすんは適當の理事長を見出す迄は理事長は欠員の儘に爲し置くに若かすと所謂喧嘩兩成敗の意平抑あらさる乎

●貯蓄債券當籤　豫て當營口橫濱正金銀行支店にて取扱ひたる「へ」號及び「ち」號貯蓄債券中割增金當籤左の如し

| | | |
|---|---|---|
| へ號 | 五等割增金二圓 | 六八六〇五 |
| 同 | 同 | 六八六九二 |
| 同 | 同 | 六八七〇九 |
| 同 | 同 | 六八九六三 |
| ち號 | 同 | 九二七九九 |

●大阪汎愛扶殖會員の來營　大日本大坂汎愛扶殖會外務部長松谷克治事務員奈良敎文氏は義金募集の爲め一兩日前來營目下元神廟街彌生館に止宿中なりと云ふ

●旅館料理店の制限　旅館料理店の營業は之れ迄何人と雖も制限なく許可せられ其數實に百軒內外の多きに達し尙新に營業を企つる者近來續出し殆と停止する所なき程の模樣なるも現在繼續しつゝある店すら到底頃日は收支償はさるは一般の旣に熟知する所なり、かゝる現狀にては所謂同志打共倒の悲境に陷る事は火を見るよりも明なり、爰に於てか其筋にても此際新に出願する旅館料理店は一切許可せさる事になせりと云ふ因に永久的大規模の出願者は詮議の上特別に許可せらるゝ事あるべしと云ふ

●松榮座本日の替狂言　金比羅利正記、大序より大詰迄、登場役割▲ズン藤平、民屋新左衛門弟新三郎（千代花）▲妻お町矢牛左島（美根代）▲源氏ぶし（小美桝）▲深見淸平、非人勘太（美澤次）▲坊太郎、淸平妹お才（美根六）▲婆お熊、朝積ヤツコ（美根八）▲平馬、非人ツンボ、矢牛妻（美花丸）▲お君（美千代）▲非人（美花吉）

投書かご

▲或所で鷄肉を買ふたら肉がよくて大層安かつたソコヲ又々先度と同じ錢高丈け買ふた所が今度は先度の半分しか無かつた咄此の胡魔化師屋め（肉食翁）▲近頃永世街の小料理屋の前を通ると晝の十二時頃に醜業婦が眠むい眼を擦り〳〵而も細帶の極めてダラシの無い風體で門口に出で〳〵楊子を使つて居るのを見る何とか取締を願ひたいものぢや（風紀生）▲不遇を嘆する染子さんよ決して失望するなかれ君が滿身の愛を捧げつゝあるお芋出身の快男子〇〇さんも飽迄君に對して同情を持つて居ますよ其れで近頃は至極沈重で浮氣も出さずお慎しみで早晩君と相滿の家庭を理想して居られますとの事其れで近日の內或る方面に奮起出張歸營后立派に〇〇令夫人となられますから〇〇さんは溫情あり義宗ありですから失戀せずとお待ちなさい（同情注告生）

●戀し女房の文?　去日當軍政署警務課に宛て片假名平假名交りの手紙に中版半身寫眞一葉を添付し尋ね寄こす文面いと面白し心當りの方あれば誤本人に知らすも功德となるべし掲げて讀者に一讀を煩はさん　（原文の儘）

拜啓　突然ナガラ御依賴迄近江國ノ人ニテ大濱樣ト申ス御方ニせひ〳〵〳〵〳〵御面會致度用件有之候ニ付甚だ御手數ナガラ此書着次第直ニ御取調ベノ上否や御報知ニ預リ度此段澤ケ（譯ケテカ）願上奉リ候在中の寫眞ハ即チ大濱樣ニ之有リ候間宜敷〳〵先ハ御依賴まで早々頓首

三十九年四月十三日　安東縣遊園地東京樓方ニテ　古川いよ拜

軍政署御中


汽車

▲上行車時刻表

| 車站名 | 開午點分 | 開午點分 |
|---|---|---|
| 新民屯至溝邦子 | 上六、〇〇 | 上九、五七 |
| 營口至山海關 | 上八、二〇 | 下六、〇〇 |
| 山海關至唐山 | 上一二、一八 | 下六、三〇 |

▲下行車時刻表

| 車站名 | 開午點分 | 開午點分 |
|---|---|---|
| 北京至山海關 | 上八、〇〇 | 下六、二〇 |
| 北京至天津 | 上一一、二〇 | 下五、四〇 |

税關手續　一、船舶輸出入荷物取扱　一、荷物保管　一、日本桴船部、回漕部

本年二月三月四月ノ三ケ月分本會々費ハ來ル廿五日限リ

諸鐵工製作　機山船舶機械鐵工　營口　[illegible]　川鐵工


天氣　營口地方天氣豫報　自二十三日午後六時至二十四日午後六時　南の風晴れ

## 新作小説　小説　おとし胤（四十四）

德田秋聲

三人は、些か狼狽えた氣味である。中にも熱田は、急に巽顔になッて、少し氣取ッた樣子で、叮嚀に禮をする。

「や、これは、熱田さんですか。相變らず、御元氣で結搆ですな。」と菊花壇の方を振向いて、「何うぢやな、花壇を御覽下されたかの。」

「拜見致しました。何の新聞かで書いて居りましたが、本年は非常な珍花をお仕立になッたさうで。恐らく、何處の花壇にも無い逸品とか申して居りました。」

「いや、二三種な、珍花がありますぢや。」と子爵は、得意げに打笑まれて、「併し新聞屋が吹聽した程の花でございませんぢや。もう三四日過ぎたら、見頃になるぢやらうと思ひますで、お出下さい。おゝ、然う謂へば、何んぢや、熱田さん。貴方ン方へ御招待狀は差出させて置きましたが、明々後日……　所詮七日になるですな。七日は、那女が、誕生日でございまするで、其の祝を兼て、菊の宴を開きまする。勿論新式での、輿の無い園遊會ぢやが、何うか、御家族お揃でお越し下さるゝやうにな、貴方からも御傳言を頼みますぢや。」

「は、申聞かせまする。」

「それでは、何うかの。」と謂ッて、子爵は、數馬に向はせられた。「數馬、何處へ行かうといふのぢや。」

「鳥渡裏の田圃でも歩いて來やうかと思ふのです。先刻少し變なことがあッたものですから、光さんがまた何んだか鬱いで居りますから、旁々鳥渡……」

子爵は點首かれた。

「然うか。それでは行ッて來たが可い。光、何か、先生は居られんのか。」

「はい。」

「それでは、叔父樣と行ッて氣を霽して來るが可い。歸ッたら直に、私の室へ來るのぢやぞ。」と謂ッて、ふと思出されたやうに、「數馬、何んぢやとな。先刻、阿母樣と奧とで、光に、また何か謂はれたさうぢやな。」

「いや、嫂樣は、何んとも仰が無かッたですが、阿母樣が……」

「可い、可い、解ッた、解ッた。」と子爵は、數馬の言を遮ぎッて、「光、何んぢや。誰が、何んと謂ふても、氣に掛けることは無いぞ。決して、何も心配することは無い。其方には、此の父が付いて居るでの。」

此の「此の父」といふ言が、今更のやうに、光の耳に妙に響いた。そして、

「あゝ、然うだッた、此の方が、私の阿父さんなんだと思はれる。

然う此うしてゐるうちに、子爵は、菊花壇の方へ行ッて了ッた。そこで光と數馬と熱田とは、裏門から、庭つゞきの田圃へ出た。

子爵は、菊花壇まで來て見たが、何やら氣が落着かぬ。何んの爲に落着かぬのか、初、自分にも能く解らなかッた。併し其の間に、光のことが氣に懸ッてゐることが解ッた。いや、光のことが氣に懸るのでは無い。光が、熱田のやうな若い貴公子と、話をしたり、一所に歩いてゐるといふことが氣に懸ッてならぬのであッた。それと氣が付くと、子爵は、悄然として驚いた。妙なことを考へたものだ。子爵は、實に妙なことを考へたのであッた。子爵は、自分ながら妙なことを考へたものだと思ッて、直に其の考へを思斷らうとしたけれども、さて中々に思斷れない。

「然うよ、光は、尚だ子供だ……　子供だから、其樣なことは、夢にも思ふまい。雖然熱田は、立派な青年だ……　最も過失の多い時代だ。殊に美男ぢやから……　いや、危險だわい。火と火藥を一所に置くやうなものだ。そりや俺にだッて覺がある……　光の母

然うさ。織江は、實に憫然なことをした！　確に、俺が生涯の失敗ぢやッたよ。それが爲に光にも壓苦い日に逢はせる……　光は實に不幸の子ぢや。織江に對しても、俺は光を幸福な體に爲て遣らなければならん義務がある……

それが所謂せめてもの罪滅ぢや！……

であるから、餘程注意して育てんければ……いや、嚴重にして育てんければならん。那は、魔ぢやからな、若や、熱田のやうな者に誘かされて身を汚されたら？……　それこそ、那女もまた、母のやうな運命になッて了うのぢや。」

考來ッて、海鹿子爵は、悚然として、覺えず兩手で顏を蔽ふた。これ、光の身を思ふ親心か。

然り！　光の身を思ふ親心は、やがて、光の母の一身を過らせた悔恨となるのであッた。

## ●懷かしき友に

梅の里人

中越の學園に袂を聯ねて、貴き師の敎を稟けし時の君と吾は、實に平和なる境涯にてありき。紅雲靉靆として、彩霞搖曳する長閑なる春の晨、烟霞澹々として、花爛熳たる、蓮乘寺々庭櫻樹の下に佇ちて、互に郷黨の華たらばやと語り、天地燃ゆるが如く、源暑炎熱實に耐ふへからさる夏の日、朝日山巓蓊蔚たる綠樹の下、遙に崢嶸として雲に聳ゆる、白嶽の靈峯を拜して、豪健なる氣象、高潔なる心氣を養へ、梧葉秋聲を孕み、軒下金風を送る秋の夕、朱熹の『少年易老學難成』の一首を口吟みて、一寸の光陰輕んすへからすと言ふ念を强ふし、刄の如く朔風凜然として身を襲ふ冬の日、雪の有磯濤頭、澎湃岸を嚙む邊に佇ちて意志の卓落を養へるも已に夢。回顧すれば三十二年の九月十四日、吾は商戰の初陣に、明眉なる故郷の山水に負きて、海山千里雲漠々たる高砂島に趣き、星移り、月變はり、年を迎ふる茲に六度ひ、一日も君を忘れし日とてはあらざるなり、ほのかに君が東都の學園に遊びしを聞き北國の麒麟兒、必ず學に成功し國家有爲の材となるの日あるを思ひ窃かに喜び居りしなり。斯くて昨三十八年四月十三日久し振りに故郷へ歸り、直に君が家門を訪へは嚴父出てゝ迎られ四方山の話の序に伜も此の間暫らく歸郷し居たるも去る八日上京せりと。此を聞きし吾の失望は如何ばかりなりけむ、共に學びし學園は兒童を塡ふる巳に七回、校運愈ゝ盛大に、吾々の植えし二葉の松ば蓊然として翠深く、共に覩し蓮庭の櫻は正に蕾を破り、偉芳千里に競はむとす、共に拜せし雲表の靈峯に白雪皎々として層一層壯大且つ神嚴、共に謠ひし有磯濤頭は松風濤聲に入りて遠く天樂を奏するもの丶如し。此の詩境にありて徐ろに君を待たん考なりしも二月の後巳むなき商用の爲め詩神が厚意を無にして此の地へ渡り、程なく君が玉章を手にして、知れり、吾郷里を發せしに後るゝ僅かに三日君も亦綠擧滴るゝが如き樹下に旅勞を休めしと、君去れは吾行き、吾去れは君來る、蓋此れ天の惡しきか吾のあしきか、吾々は何時の日か相共に郷里の山水に接するを得へき、思へはあぢきなき世の中よ、吾は何等の趣味なく、何等の光明なき異郷に早一度びの新年を迎へ若草萌立つ、野邊、春光濃やかなるにつきて故郷の空君が身の上思はさらむとするも能はさるなり、君よ一片の花信是れ余に取りて無上の慰安なり、學の暇に給はらむ事、切に願はし。


廣告

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森　矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院齒科開設
齒科醫　兒島市郎
五月一日ヨリ開設ス
森病院（電話一五五）

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豐三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ内外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日　營口有志者白

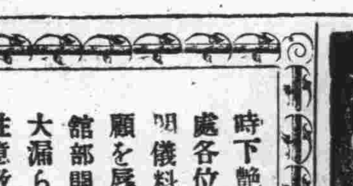
一料理用白味噌、赤味噌、
一烟草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、等、鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度く奉願上候也
營口永世街第廿八号
雜貨商　大原洋行

和洋雜貨
盛
盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花蓮。マット。
油多加織。ビロードセン。

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　倶弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司　營口支店

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ旨トシ會席打テ一團ノ雪月花ト仕ヘ御意ニ從ヒナンデモ餘
ゲンシン
ビヨガイ
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや
まつのや藝妓
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

梅毒婦人科
外科胃腸病
全身魔酔局處魔酔新器械無痛手術
專門日本醫院
輕便入院
永世街警務課ノ前

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一卷壽し　一本　十五錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
一東京壽し　一人前　卅五錢より
右之外御誂に應す
月　日
營口元神廟街二〇九號
翁亭


M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
— —
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

瀛船出入案内
盛航丸　廿五日出帆　門司、横濱行
御乘船の御方は御一報被下候へば切符持參可仕候尚御手廻荷物は當店送達組に御用命仰付被下度奉願上候
輸出入税關手續
解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所
諸品委托責買
倉庫業
西北街
德重洋行

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊館儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
（電話一四四番）
各位

會席料理
三日月
營口警務課前南に入る

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

旅館御料理
扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

和洋御料理
一力
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

醇良自釀清酒

エジプト煙草
インペリヤ（金口）
ヱキスタラフ
ワイン（キルクロ）
右特約仕代價者精々安價にて賣出し候間多少に不拘御用命被下度候

牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店



胃腸病新藥
消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見
滿洲特約一手販賣
東瀛大藥房
營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効

發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹白



井門洋行
（元神廟街）
（電話二百二十七番）
雜貨商

本行開設際茲已週一載幸蒙貴客商賈顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醤油以及磁器油器傢俱洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡鹽婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請至臨面鑒可也此啓



銘酒
白鶴
諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引 酒及米、罐詰等は五步引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街
井門洋行
遼陽西門外 電話一八五
仝支店



和洋雜貨及紙類
大販賣
奉天城內鐘樓南大路西
千賀洋行
（電　號）



大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街



廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業 井上公司



萬代不朽毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）
井上公司



大日本帝國有名方劑
化粧品一切藥品
卸賣小賣

右內地所賣と同様の廉價を以て卸賣小賣共に多少を不拘萬事御便利を謀り可申候間御用命被下度奉希上候電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候

大阪谷回春堂滿洲總售處
營口永世街（三木司法部東隣）
三木大藥房
天洋行

日本有名秘藥物售廣告

婦人以上用各一切香水髮料藥貨品格外便宜價目從廉招徠凡在日本內地貨物均可中止售賣者皆以上回春堂及各種藥品從此已遠近馳名本店在營口永世街回春堂向有總售處凡在大阪谷回春堂藥房售賣者今由敝處直接特售惟請貴士商賜顧可也特此告白

三木大藥房（電話百九十番）
天洋行 啓



發賣
材料 標子 木板

塩川商會

外に用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

遼陽小西門內 鹽川商會 ●建築
營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話一三六番）



質屋營業

精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南壽第二十六號
北斗洋行質屋部



開業

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年中和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

元神廟街二四八號（電話局向）
月　日
義安公司



廣告

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）



木村寫眞館

最新流行之

寫眞撮影法に附ては叮嚀且迅速を旨とし光線の配合及位置等に尤も注意をなし各位の御嗜好に任せ撮影可申上候弊館は更に一大勉強をなし價格の廉なるよりも進て調製方を叮嚀になし寫眞一組毎に一枚を相添可申候事に相定申候

營口二本町



業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷
幷に製本

弊所特色
●印刷鮮明
●價格低廉
●叮嚀專一
●期日正確

營口入口永世街東二本町角
川本活版所



官製口付莨、文房具
和洋酒類
白米
罐詰、菓子
藥品、雜貨
卸商
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣

營口西北街
豐生洋行
（電話十三番）



軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣

石原商店
營口永世街七十號（第二市場東）



美味安價西洋料理
牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣



料理
滿月
滿月支店



旅館
東京樓
營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需に應ず
御席和洋料理
東京樓支店（電話四十四番）

時刻

唐山至天津 上六、二… 下一…
塘沽至北京 上六、〇〇 下二、〇六
天津至北京 上一二、〇〇 下五、二〇
山海關至北京 上八、〇〇 下六、四五

天津至山海關 上六、二五 下六、二一
唐山至山海關 上六、〇〇 上一一、五八
山海關至營口 上七、〇五 下四、五五
溝邦子至新民屯 上三、〇〇 下六、五七

…保管可申候
市場北三階樓 時計店ノ二階
宮原公司

牛莊日本人會
其外雜物諸般

市場報
昨日の氣温 最高温度五十四度七 最低温度四十一度〇
昨年との差 低一度一 低〇度五

## 宮門抄

二十六日

兵部 太僕寺 廂白旗值日 宗人府引見十九名 理藩院十名 廂黃滿十二名 正紅滿十四名 廂紅滿四名 廂紅蒙二名 茶膳房四名 英綿因賞給生謝恩 景灃吳煦段書雲伺候 召見

兵部奏派查齋之大臣

派出希朗阿 兜欽 芬車 常山 祥普 善豫 連順 玉璋

召見軍機 景灃 吳煦 段書雲

皇上明日辦事後進內升

乾清宮 觀見畢還海

## 上諭恭錄

二十六日奉

上諭吳引孫奏懇請開缺省親一摺甘肅新疆布政使吳引孫著准其開缺該員現署新疆巡撫着侯聯魁到任再行交卸欽此

## 論說

# 強國之本在統一語言論

今欲宣國威於二十世紀文明時代。樹國旂於九萬餘里絕大地球。是固有其本焉。而不可冒然從事。以期收效於旦夕。奏功於目前者也。夫本大者末必茂。本固者枝必榮。當此東西列強蒸蒸日上。挾勇往直前之能力。振尚武冒險之精神。月異日新。時更刻變。雖政化已臻絕項。而其孜孜不已之勢。固依然日進無疆。有不可稍爲遏抑者。本立道生故耳。在外觀皮相者流。第見其工藝之發達。製造日精也。商業之膨脹。推行日廣也。以及船艦之堅利。鐵路之迅捷。器械之精良。規模之完備。即震乎其名。以爲富強之基。實恃於此。而不能深求其立國之本。則亦拘墟固執之見。不可爲定論者矣。攷各國富強之本。首在乎興學。而興學之宗旨。則在乎激發國民忠愛之心。而結其團體。團体愈固。國本乃不可動搖。故無論大中蒙小學堂。皆於幼稚之時。植其基礎。而後萬事由此擴充。自有順勢利導之易。而無揠苗助長之虞。易曰。蒙以養正。聖功也。其此之謂乎。迺者中國各行省。學堂遍興矣。教科程度。亦以激發忠愛爲本旨矣。然他國之所以易於爲力者。在乎文言之統一。故無隔閡之弊。而其感甚靈。中國之所以艱於收效者。在乎語言之龐雜。故多滯礙之憂。而其限難化。近者。有以官話一科。宜於語言歧異之省分。遍設專門。使言語曉暢。官話清楚者。爲之教員。期收語言劃一之實効。此誠似緩實急之事。國家盛衰強弱之一大關鍵也。蓋語言一致。則群情易通。纍纍如珠之在貫。語言分歧。則群情易隔。漠漠如沙之散盤。於政治上。學界上。工商兵農上。皆受其影響。而外表之隔膜。尚其小焉者爾。即以小者喻之。譬如游學者。此省而赴彼省。言論必須轉譯。何由遽索解人。經商者。此方而至彼方。語言既費周章。難免毫無欺詐。至工業之研究。社會之合同。一國之人。猶不能沆瀣一氣。安望如身使臂。如臂使指。呼吸靈通哉。英之言語。習之者幾遍環球。無論行至何國。不能通其國之語。試舉英語。必有通曉之人。而其國之勢力範圍。亦偏及於五洲之內。此非其明效大驗歟。中國之所可通融者。僅奉直齊晉各省。而語言尚有土俗之殊。至於閩廣一帶。有一省而語言多數歧別者。以若干省。幾如若干國。豈能精神團結。痛癢相關乎。況今之疆吏。各轄其境。各子其民。各省施爲。權限無自假借。秦之視越肥瘠。殊觀。政體紛歧。莫斯爲甚。當此積重難返之際。而一旦欲破除融化。以成一無上之團体。勢必有所不能。必也從統一語言入手。使之漸磨陶鑄。由散而聚。由分而合。由萬殊而一體。語言既同。終將有收此效果之一日。甚望提倡斯議者。見諸實際。勿徒託之空言。則中國四萬萬人民之幸。而亦即國家之幸也。

## 鐵嶺電報

### ●日俄受領鐵道委員之會見

西四月二十一日日本受領鐵道委員長中村少將並委員等與俄國委員長多維帖少將以下各委員會見於西沙河子日本委員先問俄國委員以說明煤礦及鐵路之情形且要索交付至長春之鐵路俄國委員即告以詳細情形而交付鐵路一事二十五日於四平街當即行覆答此外日俄兩委員尚協定二三交涉事而相別聞於該會見據俄國委員所聲明云鐵路未經授受之間則嚴監守沿道在該鐵路上物件即雖釘頭木屑亦期不稍遺失云云　(西四月二十二日發)

## 東京電報

### ●嘯聚兇徒罪案告竣

客年前衆議院議長河野廣中君等憤慨日俄和約糾合志士逼日政府極力阻止輦轂之下一時騷然人心爲之恟恟政府乃檢舉以嘯聚兇徒之罪名捕而下獄糺査半載不得實情刻宣告無罪一律釋放云　(西四月二十一日發)

### ●大島總督晉京

關東總督大島大將刻已到東於西四月二十二日晉京云

### ●日民亦受地震之災

據駐桑富蘭洗斯科𡋯日本領事來電云因此次地震之災日本領事署亦歸烏有在留日民約一萬人住無家食無食慘狀莫名刻正講究救濟方法然至西本月二十二日朝火燄尚未熄滅云　(以上西四月二十二日發)

## 中外要聞

●楊蓮帥將實授魯撫　魯撫楊蓮帥認眞圖治整頓內政外交殆不遺餘力於是某國頗憂不能肆意侵蝕利權出運之巧手段擬將楊蓮帥調任將駐德廕使署理以逞其奢望已誌前報然日前有楊蓮帥被參將以廕使署之說以爲某國運動果有成效茲聞官場消息實無此事目下政府以楊蓮帥在東撫任辦理交涉於我國主權頗能堅持如高密德兵撤退德郵政收回在在辦理寔協機宜足徵楊蓮帥爲外交能手加以袁宮保力保其能勝任故政府擬奏請着楊士驤實授東撫以息浮言由是觀之楊蓮帥被參將以廕署之說或係某國有意宣傳或由某國運動以致訛傳者均未可知究之楊蓮帥爲外交能手世有公論切望政府諸公勿爲謠言惑云

●高邑匪徒亂耗　日前直隸之高邑元氏兩縣有庚子漏網拳匪勾結匪徒密布黨羽以仇教爲名定期起事乃該縣知縣銘令畏事不敢舉發以致匪首歸老傑潛通鄰縣妖僧焚香聚衆幾成巨患幸經袁宮保聞知派保定駐軍前往剿辦匪首遠颺現尚未獲袁宮保以銘令辦事顢頇遂飭由藩司撤任仍留緝捕以便贖罪云

●長岡子爵葬儀　長岡子爵葬儀擧行於華三月廿六日送葬者數千名之多內有駐東中國欽使及多數華人由中印兩國留學生均致輓詞又由中國皇上申唁追贈寶星一座云

●商定破產條律　官場人云現商部各堂憲與法律大臣伍沈二侍郎會同訂定破產律十三條刻已擬妥不日將入奏矣

●趙軍帥咨調人員　聞趙次珊軍帥日前電告政府略云東省現將開闢商埠所調之熟悉外交人員尚不敷用希由外部揀選熟諳交涉精于東文俄文譯員數人派赴來東襄辦交涉以資臂助

●議飭酌收訟費　聞政府日前議商前擬飭令各省衙署裁撤門簽六科以防弊竇若使官員廉潔擬即另籌津貼以資養贍應飭各省仿照直隸總督奏定章程酌收訟費其餘陋規差費一槪禁止違者處以重刑

## 雜報

●查捐商鋪　昨聞蓋城人來云該處商鋪一年兩季按人數捐每名市銀四兩該商行等統計大會傳說仝赴省垣擬禀督憲詎下情未得上達俱被當路阻回云云

●岫屬風潮　近聞岫岩來人云客冬該城營弁李某之弟率土匪十數詐稱有日軍憲公文捐賃車之款需索甚鉅鄉民無力措辦懇將車輛報効李不容竟將富民捉去若干痛責後嚇以全行處斬斯蓋威嚇之意詎鄉民憤激聚聯莊會將李等槍斃焚滅於是數百里民皆嚮應相傳不下二十萬衆齊向州衙請死州牧丁君詢於日官絕無捐車情事因律李等死勿論其事寢息不意今春又有南海某劣紳等勞困無聊仝向省垣謀辦牲畜等稅并請州牧曉諭凡牲畜估價徵稅百中徵六豬羊按斤估直雞犬每徵銀洋一角凡飼畜之家槪爲搜查謂之清圈底率估烏價前主州南青堆子該稅役十數人暴橫縱恣乂激民變糾團捉打幾致斃命幸該牧急往開諭彈壓未釀大變至今尚不知了結否

●充兵綁票　昨聞南來人云復州南毗連金州界沿海一帶前數日忽有十數官兵裝皆洋式徑入某村富民曾首等家若甚熟悉將該會首等綁去詐稱有錦郡公文拘傳赴案質對捐船等案村民心無所愧乂兼被脅只得隨往乃禁錮途復向他村乂稱本縣官差拘傳爾輩漏納國課云云於是共拘二十餘人驅於海曲脅之登舟撑遣二三村民回村送信勒備銀洋五萬元至某島取贖原來該兵俱係海賊勾結土匪素悉富民姓氏門戶故詭扮兵裝藉以綁票後聞備銀洋幹千元始將各票一併贖回云

●慣賊羅網　昨由西來人云前日榆關車站捉獲剪綹二賊係錦郡原籍當備文解送錦郡適有裹省染絲匠由錦郡某處拐逃二婦行至榆關事敗被獲亦并解回原籍既而鐵路總辦慖二賊解郡罪苦達電於郡西某站長着將二賊仍解榆關發落詎該站長誤會電文竟將二婦解關該總辦大怒命將二婦補回并電責站長之誤時二賊已解郡收監該賊原係著名久犯爲官宰所痛恨不容解回決定在郡嚴懲亦可謂天網恢恢疏而不漏矣

NEWCHWANG, TUESDAY, APRIL 24, 1906.

The atmosphere kept pure and fresh all yesterday after the stormy night previous. The wind remained brisk, but could neither blow the roads quite dry nor raise a particle of dust to taint the air with.

The storm warning given last Sunday was withdrawn on the following day. Another atmospheric depression made an appearance in the Gulf of Pechili proceeding northward, to which the stiff gale of last Sunday night is ascribed by the local weather prophet.

---

Mr. C. Kristy, the Russian Consul at Chefoo, arrived at Newchwang via Peking on a visit last Sunday evening and is staying at the "Manchuria."

Mr. D. S. Economon and Mr. M. Pavich both of Tientsin are also here and have registered at the same hotel.

---

Mr. and Miss Sargent are receiving many calls and messages of tender inquiry after the welfare of Mrs. Sargent and her son who reside at San Francisco, the centre of the most terrible earthquake yet known in the United States. Nothing has been so far heard from their relations at home across the Pacific; and in their hours of anxious suspense, Mr. and Miss Sargent have the warm sympathy of the large circle of their friends who join them in their hope for the best.

---

The Newchwang Branch of the Russo-Chinese Bank will soon have an elegant frame annex completed in front of the main building within the premises of the Russian Consulate. The work is in the hand of Mr. Thunder, and when finished, it will be occupied, we understand, as part of the office of the Bank.

---

It is learnt that, arrangements having been perfected between the authorities concerned for the conveyance of the mail-bags by rail, two couriers are to leave for the interior of Manchuria, each day, beginning with to-day,—one of them for as far north as Mukden and the other turning south at Tashihchao for Kaichow. The post-offices at Hsiung-Yo and Wa-fang-tien south of Kaichow and also those to the north of Mukden are to be re-opened later on.

It is learned that the train carrying the mail starts from Niuchiatun at 5:35 in the morning and due at Tashihchao at 6:39, at Haicheng at 8:14, and at Liaoyang at 10:04, arriving at Mukden at 1:40 p.m.

---

THE LATEST TOKYO INTELLIGENCE.

From the information received by Mr. Wilson, the American Charge de Affaires at Tokyo, the late earthquake is regarded as a national calamity almost sealing the fate of the ill-starred city. The water-mains having burst up, the raging flames could not be over-powered. President Roosevelt has appealed to the American people for contributions towards relief to be administered mainly through the hands of the Red Cross Society.

A later telegram from the Secretary of State dated 6 p.m. on the 21st inst. at Washington stated: "A fire was started afresh at midnight last Friday night which is still on the spread, threatening the total destruction of not only the business section but also of the residential district of the city."

Another Washington dispatch reaching Tokyo yesterday says: "The estimate of loss from the earthquake is steadily increasing. Over 100 000 are homeless and 5,000 lives are lost besides thousands of people being more or less injured. The supply of food stuff has been practically cut off. The Congress has voted $1,000,000 off hand for relief purposes.

H. I. M. the Emperor has despatched a message of condolence to President Roosevelt. Mr. Ozaki, Mayor of Tokyo, has also sent a telegram of sympathy to the Governor of California and also to the Mayor of San Francisco.

In view of the awful blow dealt to a country which has shown Japan unfailing sympathy, the Japanese Red Cross Society is contemplating the despatch of a hospital ship to join in the relief work. The import and export merchants and the leading business unions of Tokyo and Yokohama are discussing the means of contributing towards the succor.

The Berlin advices state that the news of the seismic disturbances about San Francisco has evoked the profound sympathy of all the European countries.

Germany has in contemplation the establishment of a Consulate at Newchwang.

## 營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 **千鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **沖の島** 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 **高砂ホテル** 料理 **高砂亭** 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 **竹村館** 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五一）

旅館 **大和館** 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 **滿洲樓** 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 **萬梅** 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百弐十九号 店主 和田常松

和洋御料理 **公樂園** 南永世街

東京生蕎麥 一式 **東庵** 元神廟（電話百五十九）

旅館 **金城ホテル** 料理 **第二金城ホテル** 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 **醉花園** 旅館 **澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 **喜樂亭** 營口元神廟街

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 **東雲** 主任 谷口今朝太郎

---

さるそば そば 第一更科 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 **柳亭** 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡

御料理並ニ温泉 **一力** 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 **松月亭** 營口元神廟街一四三号 住松信大

料理 **都樓** 平野町 店主 坂本ちか

## 遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 **日營ホテル支店** 主任 井上源吉

御料理會席 **菊水館** 主任 朝枝園提

旅館西洋料理 **遼陽館** 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 **公陽館** 主任 宮川秀基

御料理會席 **末廣屋** 主任 山根初之亟

御料理 **凱旋亭** 色々趣御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 **遼塔ホテル** 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル **遼陽倶樂部** 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 **玉家** 主任 西野治三郎

御料理會席 **來々亭** 主任 石田清

和洋料理 御旅館 **滿洲ホテル** 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

一和洋御料理 **遼東館** 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

## 奉天旅館料理屋案内

旅館 **奉天館** 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 **日清倶樂部** 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 **瑞豐館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 温泉付大勉強キレーデヲイシヒ 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話 號）

旅館料理店 **日の出樓** 奉天小西關大街南側 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 **日盛館** 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 **梅松館** 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 **大和館** 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 **大正館** 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極更宜く御取扱可申上候以上

御旅館料理 **高砂館本店** 奉天十間房第十五號

**奉高館** 高砂館支店 奉天城外廿四號 店主 宇本智平

旅館料理店 **日奉館** 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 **東洋館** 奉天大西門外小什字街（電話 號）主任 藤島初野

御料理 **梅ケ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 **勉強館** 奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館 **茂林館** 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 **日章館** 奉天小西關大什字街南へ入

牛肉雞肉すき焼 **日章亭**（電話 號）

御旅館 **瀋陽館** 奉天小西門外大街路北

---

奉天小西關新來當街々　御料理本店　**金城館**（電話十九）

奉天小西門街大什字街　御旅館　**金城ホテル**（電話二〇）

營口永世街　御料理支店　**金城館**（電話八三）

營口永世街　御旅館支店　**金城ホテル**

大連市吉野町　御料理支店　**金城館**

大連市吉野町　御旅館支店　**金城館**

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候

猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一言申添置候

---

和洋會席 **御料理**

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 **日本館**（電話百三十）

各位様

---

自造 **煉瓦●瓦** 並に各種石材販賣 營口青堆子 **加州組**（電話八十六番）

**惠比須ビール新荷着**

●**金升洋行**

●**盛進商行**

---

### 着荷廣告

筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、等勝手道具いろいろ

營口 **加藤洋行**（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店 **加藤洋行**

---

工　營口元神廟前 **飯塚工程局材料部**（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

---

大連 **東洋ホテル** 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

---

西洋家具製造販賣 營口青堆子 **清水寧木局**（電話九十四番）

---

發賣 料木、杆子 一丈 一丈二

亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒 雜貨一切御賣

日本酒春駒一手販賣

營口元神廟街 **捌荷洋行**（電話一四七番）

---

**爲替相場**（四月二十三日）

日本向 一百圓

上海向 七十一兩二十五錢（軍票百圓に付）

天津向 一百〇二圓五十錢（同）

芝罘向 一百〇三圓五[illegible]錢（百弗に付）

**日本品最近物價** 加藤洋行

紙類

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 仝 七圓五十錢

一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

一仝 二十枚綴 三錢二厘以上四錢

一狀袋 百枚 十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行

一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓

一薄椽 十枚 八圓

一麻緞通 一疊敷 三圓

一綿緞通 仝 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.20 per 3 months

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 票八十仙
一半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙